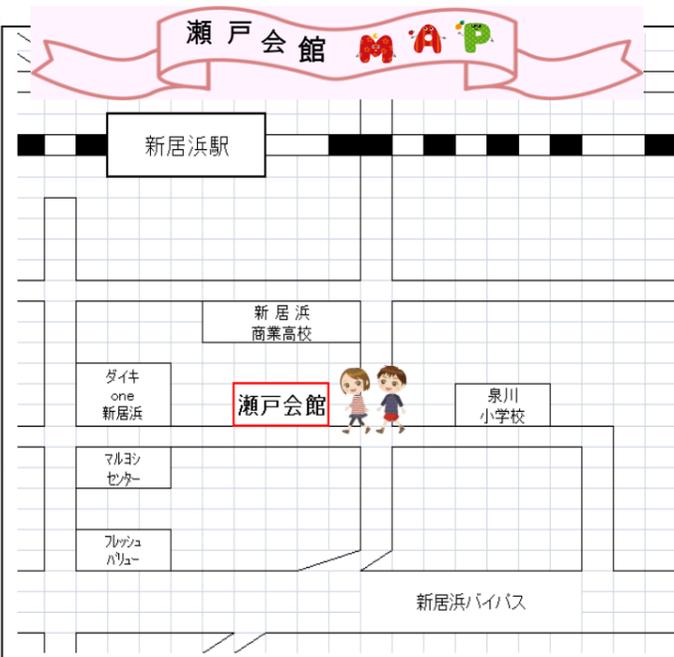




新居浜市瀬戸会館
〒792-0821 新居浜市瀬戸町7-30
Tel : 0897-41-5859 (Fax 兼用)
E-mail : seto@city.niihama.ehime.jp



平成 27 年度地区別人権・同和教育懇談会

『桃香の自由帳』という DVD を視聴し、みんなが幸せに暮らすため、差別のない社会を創るにはどうしたらよいかについて考えました。「桃香という小学生の女の子の、ありのままの姿を見る素直な目と優しさが、友達や大人の偏見を氷解させ、温かい『人の和』を生み出す。」という内容でした。今年度は、感想を無理に求めないという会の持ち方でしたが、感想や意見が熱心に出されました。素直な目を持ち続けたい。そして、子どもたちの素直な目を濁らせてはいけないと思いました。最後に話された、中学校の小西校長先生の、「境遇は変えられないが、生き方は変えられる。」という言葉が力強く感じられました。



新たな出発となる総会が順次、開催される！！

6月25日(木)19時から、愛媛県人権対策協議会新居浜支部総会が関係者他46名、市長代理として近藤副市長の参加の下、瀬戸会館で開催されました。

最初に原支部長から、平成3年の支部組織の解散廃止通知から今日まで基本的人権にかかわる部落解放運動が停滞を余儀なくされたことは、誠に残念である。一方、新居浜支部結成以来、半世紀を超え、志と目的を同じくする私たちがここに参集し、これまでご苦労された先人の意志を受け継ぎ、本日の総会を契機として、新たな出発をしたいと力強い代表挨拶がありました。

引き続き、「新居浜支部の現状と今後の方向性」については、取り組むべき第1の課題として、地元の皆さんの総意の中で、会則に準じた効率的な執行体制の確立をめざして取り組んでいかなければならない、組織の再編の必要性など、また3項目からなる活動方針、執行部役員紹介等々が提案をされ、すべての議事は承認をされました。

総会後には、愛媛県人権教育協議会 会長代行 岡先生の「同対審答申から50年、変わったこと、変えなければならないこと」と題した講演があり、総会は成功裏に終了しました。

県人権教育協議会 岡省吾さん 講演

6月25日、愛媛県人権教育協議会会長代行岡省吾さんの講演会を瀬戸会館で開催しました。「同和問題は、私の問題、あなたの問題ではなく、私たちみんなの問題」というお話の後、社会問題解決のために大切な三つを示されました。

- 団結 … 不利益を被っている当事者の団結した声
- 教育 … 小さい時からきちんと順序立てての教育
- 法律 … いい法律を作り、施行

「差別は、なくそうという仲間を増やしていけばなくなる。待てばなくなるというのではなく、早くなくしていく努力が大切。」という、岡さんの「支えあう仲間を増やし、みんなの力を集結していこう」という想いが強く伝わる講演会でした。



日直 高津 浦江

口月○日(●曜日)

8月の行事予定

- ★ゆめじゅく編集委員会
8月4日(火)13時30分～
- ★移動図書館青い鳥号
8月12日(水)・26日(水)
14時～14時40分
- ★「人権のつどい日」
8月11日(火)19時30分～
内容：「天まで届け！ひまわりの花」
～寄り添い、共に生きるために～
講師：石田 伸一さん
- ★回転木馬(泉川小学校)
8月27日(木)10時00分～11時00分

- ♥ であい展
8月12日(水)～16日(日)
9時～17時(16日は21時まで)
- ♥ 夏まつり
8月16日(日)
19時～21時

6月28日(日)10時から、南沢笑子さんの想いをつなぐ会総会が開催されました。これまでの同和教育の歴史の中で、私たちに忘れてはならない一つの命があります。それは、今から55年前の1960(昭和35)年、新居浜市に嫁ぎ新婚生活5カ月で部落差別のために自死された南沢笑子さんの命であります。同和教育の道しるべとなった笑子さんを偲ぶため、2009(平成21)年12月22日、本市の瀬戸会館で100余名の有志の参加を得て開催された「偲ぶ会」の後、私たちに出来ることは何か、皆さんとともに考える機会にしたいとの思いで結成された南沢笑子さんの想いをつなぐ会であります。

議事は、平成26年度の活動報告、決算報告、平成27年度の活動計画、予算等々が提案され、すべて承認されました。

平成24年4月に結成以来、懸案であった総会が開催されたことは、大変意義のあることです。南沢笑子さんが遺書で私たちに託した想いを受け継ぎ、反差別のネットワークを広げていきましょう。

6月30日、コミュニティー防災センターにおいて愛媛県人権教育協議会新居浜支部総会が開催されました。支部長の石川市長挨拶、人権教育功労者の皆さんに感謝状の贈呈が行われた後、議事に入りました。昨年度の事業報告等に引き続き、今年度の基本方針や事業計画について話し合われました。差別の解消・人権尊重の取組を再確認して総会は終了しました。就学前部会や組織・企業部会等7部会の今後ますますの活動が期待されます。

人権のつどい日

うたの心 ~歌に込められた作者の想い~



7月の『人権のつどい日』は、瀬戸会館前館長の山本光博さんを講師にお迎えし、「うたの心」と題し、歌に込められた作者の想いを語っていただきました。〈七つの子〉の歌から、カラスという一般的にはマイナスのイメージを持つ鳥が、「世間がどう見ようと、親にとってはかけがえのない我が子。命に代えても慈しみ、育てていこうと思う親の心。」〈ぞうさん〉の歌から、「母の子に寄り添う愛が、子の自尊心を育み、母親に対する信頼と愛情を生む。鼻が長いという特異性をも、象として生きることの誇りに変えている。」など、新しい視点を示唆していただきました。「野口雨情の詩の根底には、必ず愛がある。周りの人がどのように見ようと、親にとって、この子が一番大切な子。親にとってかけがえのない命。命の姿、それが私、そしてあなたです。」という言葉も、心に響きました。「今日は数曲の歌に込められた想いを語っていただいたが、他の歌に込められた想いを考えたい。」という感想をほとんどの参加者が抱いた1時間30分の講演でした。



瀬戸会館サークル紹介



「手作りは初めて」「絵を描くのは苦手」「むずかしいのは無理」「私、センス無いから」と言いながら集った仲間が「これ売り物？」なんて、出来上がった作品に大満足で盛り上がっています。参加できる時だけという制限なしも魅力の教室です。お暇な時にぜひ一度のぞいてみませんか？

幼児期から、いろいろな経験をすることで、大きくなったときに、自由に体を動かせるようになります。運動する喜びや怪我をしない体づくりを、遊びの中にコーディネーショントレーニングや頭を使ったシナプソロジーを取り入れて行います。今ではなく、将来を見据えたスクールです。

★ポーセラーツ教室「あとリエK」★

★エストレージャ★

人は皆、「素直な目、清い心」をもってこの世に生まれてきます。それがいつの頃から濁り、汚れてしまうのでしょうか。素直な目で世の中を見れば、ずいぶん温かい毎日を送ることができるはず。 「人が言うから」「みんなが言うから」ではなく、自分で考え、納得がいく道を歩いていきたいと思ひます。

わたしは不思議でたまらない、
 黒い雲からふる雨が、銀にひかってゐることが。
 わたしは不思議でたまらない、
 青い桑の葉たべてゐる、蚕が白くなること。
 わたしは不思議でたまらない、
 たれもいぢらぬ夕顔が、ひとりではばりりと開くのが。
 わたしは不思議でたまらない、
 誰にきいても笑って、あたりまえだ、といふことが。

これは、若くして自らの命を絶った金子みすゞさんの「不思議」という詩です。みすゞさんの様な素直な目、優しい心をもった人の輪が広がり、力強く生きていける世の中は、すぐそこまで来ています。

中学生職場体験学習

7月1日から三日間、泉川中学校2年生の職場体験学習が実施されました。生徒たちは数名ずつのグループに分かれて、お世話いただける市内の営業所等での体験をしましたが、地元での受け入れ先、寿建設工業さんでの様子取材しました。参加の生徒は男子3名。安全面での講習をじっくり受けた後、足場の組み立て作業の練習に取り組みました。組み立て、解体の練習を2回行いましたが、練習中も安全面の指導が再々。安全第一ということを実感できる三日間の体験になったと思います。



【であい展】は、8月12日(水)から16日(日)
 【瀬戸・寿地区恒例の夏まつり】は、16日(日)午後7時～午後9時まで
 瀬戸会館では初めての試みとして、15日(土)10:00～14:00までの間、瀬戸会館駐車場にてフリーマーケットを開催いたします。また、15日(土)ポーセラーツ体験会・16日(日)押し花体験会も行います。
 盆踊りはもちろん、出店もありで、今年も豪華景品が当たるくじ引きが連合自治会で行われます。楽しみが一杯！
 ご家族、ご近所お誘いあわせの上ご参加ください。

くじ引き券

氏名 _____